

## 2 届出排出量及び移動量の状況

### (1) 届出状況（別紙2及び別紙3参照）

平成27年度には、平成26年度に県内の事業者が把握した排出量及び移動量について、1,402事業所から届出がありました。

表3 業種別の届出状況

業種名	届出事業所数	届出物質種類数	業種名	届出事業所数	届出物質種類数
食料品製造業	8	12	船舶製造・修理業、船用機関製造業	8	17
飲料・たばこ・飼料製造業	1	3	精密機械器具製造業	2	7
酒類製造業	1	1	医療用機械器具・医療用品製造業	3	3
衣服・その他の繊維製品製造業	1	4	その他の製造業	3	5
家具・装備品製造業	2	6	電気業	10	9
パルプ・紙・紙加工品製造業	11	7	ガス業	1	4
出版・印刷・同関連産業	11	13	下水道業	40	33
化学工業	142	193	倉庫業	9	21
医薬品製造業	11	14	石油卸売業	18	8
農薬製造業	2	7	燃料小売業	607	9
石油製品・石炭製品製造業	24	40	洗濯業	12	5
プラスチック製品製造業	35	53	自動車整備業	18	6
ゴム製品製造業	9	43	機械修理業	1	1
窯業・土石製品製造業	14	21	商品検査業	1	3
鉄鋼業	10	30	計量証明業	3	3
非鉄金属製造業	24	33	一般廃棄物処理業（ごみ処分量に限る。）	45	34
金属製品製造業	77	31	産業廃棄物処分量	19	35
一般機械器具製造業	47	31	医療業	5	3
電気機械器具製造業	55	32	高等教育機関	9	9
電子応用装置製造業	1	1	自然科学研究所	28	17
電気計測機器製造業	1	1	合計	1,402	226
輸送用機械器具製造業	67	39			
鉄道車両・同部分品製造業	6	8			

業種別及び市町村別の届出状況は、次のとおりです。

表4 市町村別の届出状況

市町村名	届出事業所数	市町村名	届出事業所数	市町村名	届出事業所数	市町村名	届出事業所数
横浜市	420	逗子市	2	綾瀬市	27	開成町	6
川崎市	190	三浦市	9	葉山町	5	箱根町	10
相模原市	114	秦野市	45	寒川町	23	真鶴町	—
横須賀市	57	厚木市	67	大磯町	4	湯河原町	3
平塚市	83	大和市	42	二宮町	2	愛川町	23
鎌倉市	22	伊勢原市	32	中井町	5	清川村	1
藤沢市	64	海老名市	24	大井町	8	合計	1,402
小田原市	47	座間市	22	松田町	1		
茅ヶ崎市	24	南足柄市	14	山北町	6		

※ 真鶴町では届出がありませんでした。

## (2) 届出排出量・移動量の集計結果

### ア 全物質の届出排出量・移動量

事業所から届出のあった総届出排出量・移動量は全県で 12,364 トンであり、その内訳は、総届出排出量 5,542 トン、総届出移動量 6,821 トンでした。

総届出排出量の内訳は、大気への排出 5,255 トン、公共用水域への排出 288 トン、土壌への排出 1 キログラムであり、事業所内での埋立処分はありませんでした。

また、総届出移動量の内訳は、事業所外への廃棄物としての移動 6,756 トン、下水道への移動 66 トンでした。

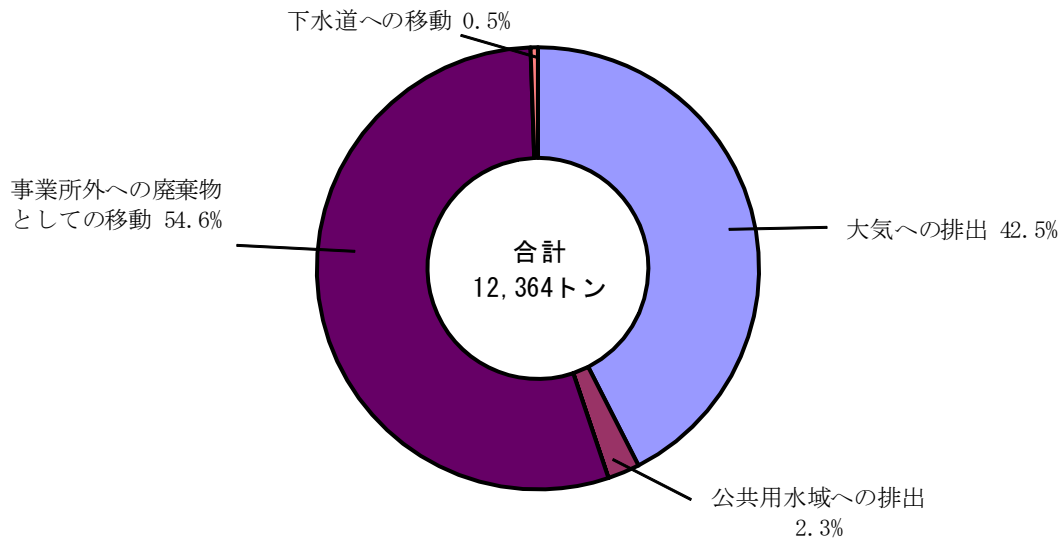


図1 総届出排出量・移動量

### イ 届出排出量・移動量の状況

届出排出量・移動量の上位 10 物質の合計量は 8,842 トンで、総届出排出量・移動量 12,364 トンの 71.5%に当たります。

上位 10 物質は次のとおりです。

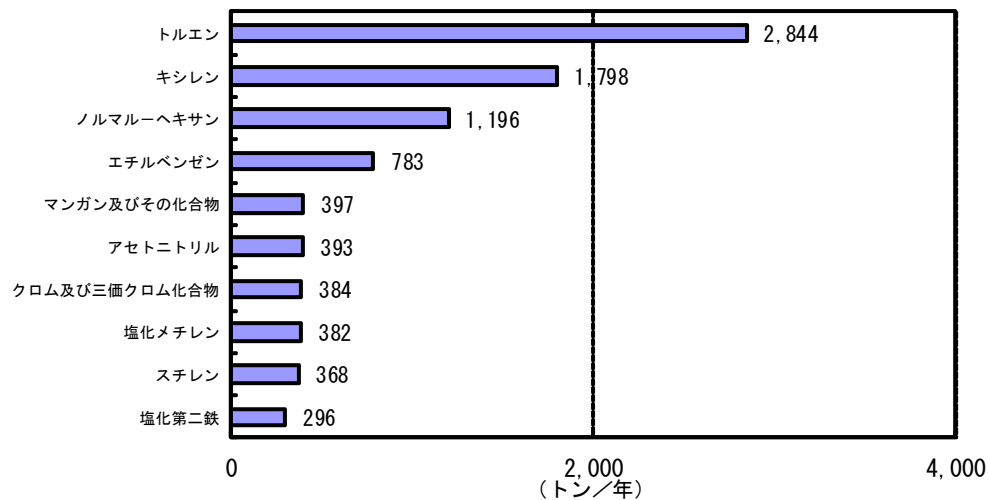


図2 届出排出量・移動量上位 10 物質

### ウ 届出排出量の状況

届出排出量の上位 10 物質の合計量は 4,967 トンで、総届出排出量 5,542 トンの 89.6%に当たります。

上位 10 物質は次のとおりです。

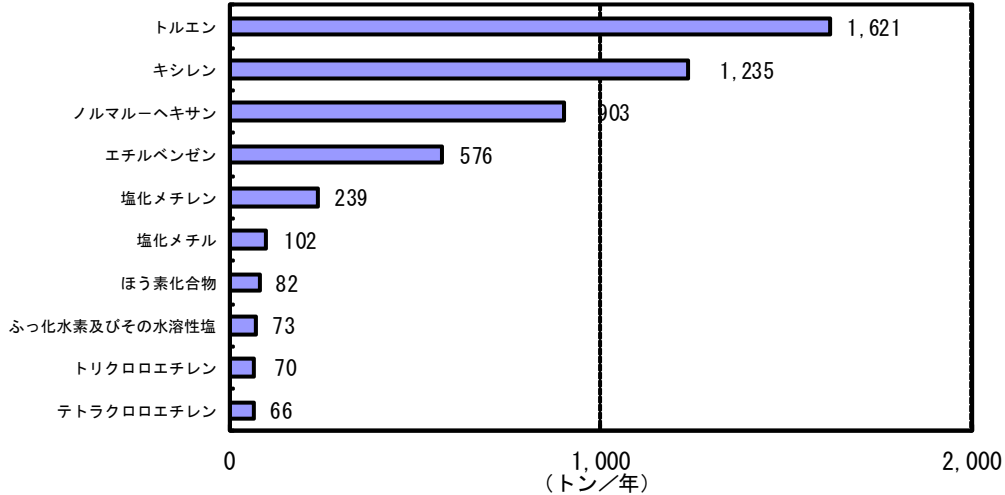


図 3 届出排出量上位 10 物質

### エ 届出移動量の状況

届出移動量の上位 10 物質の合計量は 4,269 トンで、総届出移動量 6,821 トンの 62.6%に当たります。

上位 10 物質は次のとおりです。

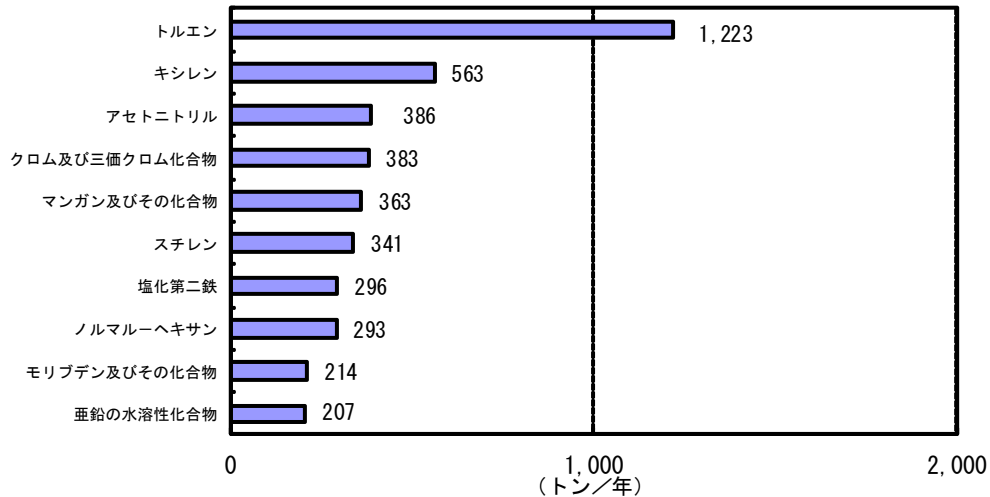


図 4 届出移動量上位 10 物質

## オ 届出排出量の排出先ごとの状況

### (7) 大気への排出状況

大気への排出量の上位 10 物質の合計量は 4,913 トンで、大気への排出量全体 5,255 トンの 93.5%に当たります。

上位 10 物質は次のとおりです。

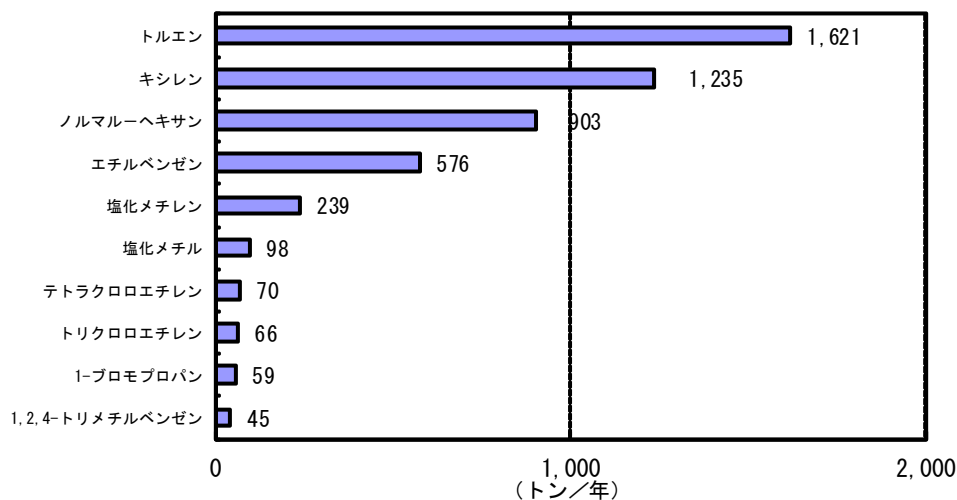


図5 大気への排出量上位 10 物質

### (イ) 公共用水域への排出状況

公共用水域への排出量の上位 10 物質の合計量は 276 トンで、公共用水域への排出量全体 288 トンの 95.5%に当たります。

上位 10 物質は次のとおりです。

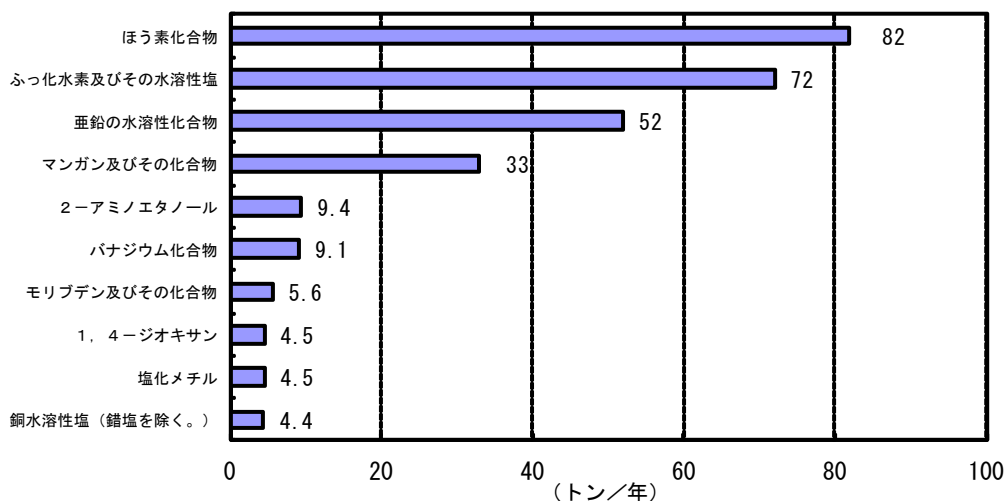


図6 公共用水域への排出量上位 10 物質

### (ウ) 土壌への排出状況

土壌への排出は、コバルト及びその化合物の 1 キログラムでした。

### (イ) 事業所における埋立処分の状況

事業所内で埋立処分を行ったという届出はありませんでした。

## カ 届出移動量の移動先ごとの状況

### (ア) 廃棄物としての移動量

廃棄物としての移動量の上位 10 物質の合計量は 4,243 トンで、廃棄物としての移動量全体 6,756 トンの 62.8%に当たります。

上位 10 物質は次のとおりです。

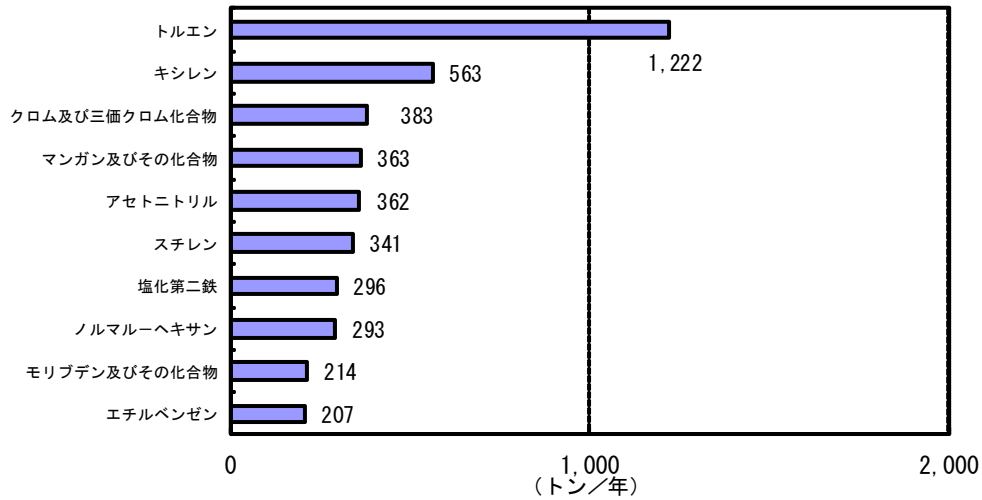


図 7 廃棄物としての移動量上位 10 物質

### (イ) 下水道への移動量

下水道への移動量の上位 10 物質の合計量は 61 トンで、下水道への移動量全体 66 トンの 92.4%に当たります。

上位 10 物質は次のとおりです。

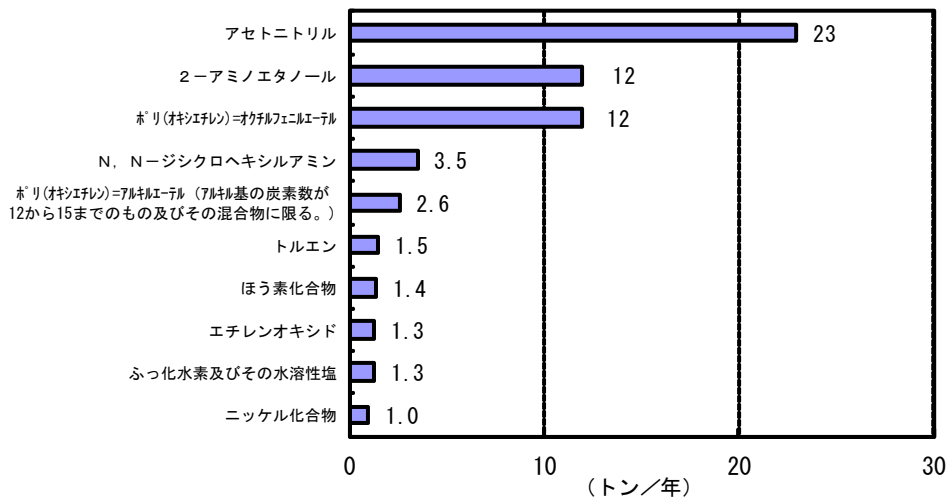


図 8 下水道への移動量上位 10 物質

## キ 業種別の届出排出量・移動量の状況

### (7) 届出排出量・移動量

届出排出量・移動量の上位 10 業種の合計量は 10,356 トンで、総届出排出量・移動量 12,364 トンの 83.8%に当たります。

上位 10 業種は次のとおりです。

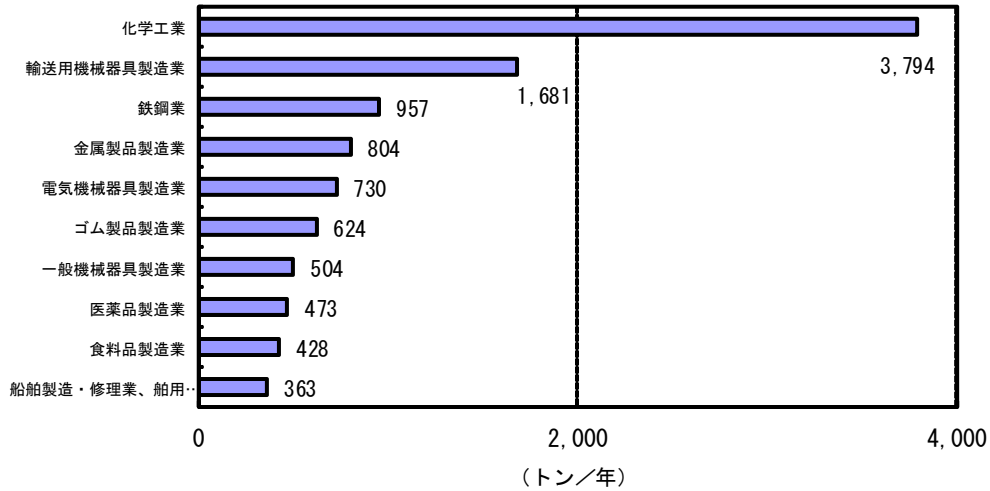


図 9 届出排出量・移動量上位 10 業種

### (イ) 届出排出量

届出排出量の上位 10 業種の合計量は 4,788 トンで、総届出排出量 5,542 トンの 86.4%に当たります。

上位 10 業種は次のとおりです。

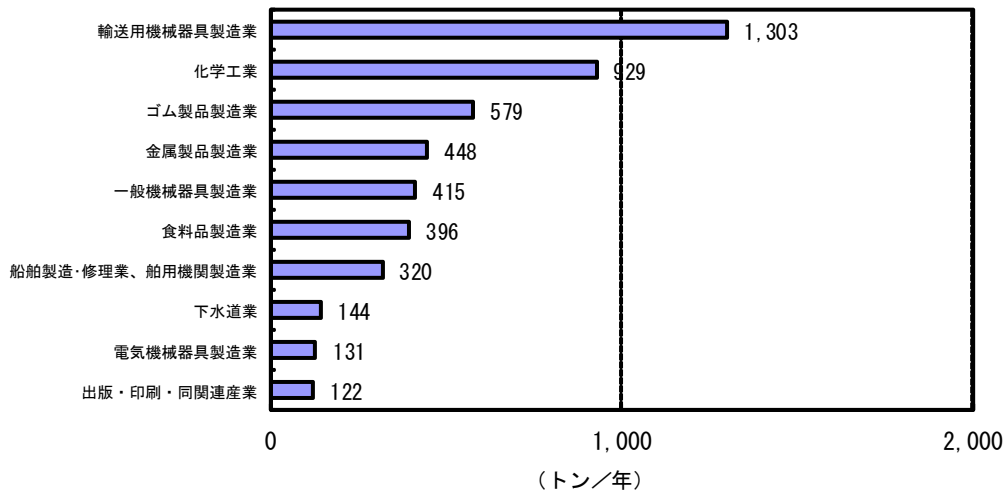


図 10 届出排出量上位 10 業種

(ウ) 届出移動量

届出移動量の上位 10 業種の合計量は 6,265 トンで、総届出移動量 6,821 トンの 91.8%に当たります。

上位 10 業種は次のとおりです。

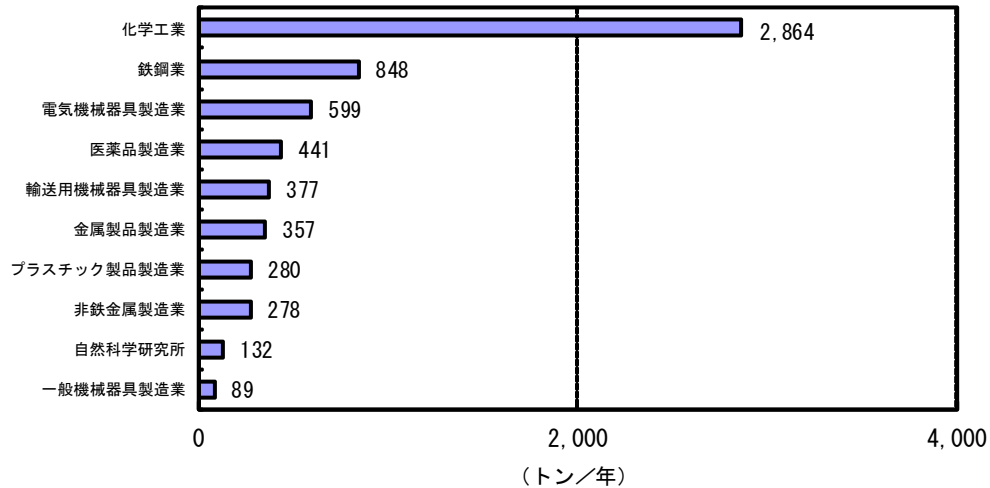


図 1 1 届出移動量上位 10 業種

ク 特定第一種指定化学物質の届出排出量・移動量の状況

化管法で定められている人に対して発がん性のある特定第一種指定化学物質 15 物質のうち、本県では次のとおり 12 物質について排出等がありました。

表 5 特定第一種指定化学物質の届出排出量・移動量

(kg/年 (ダイオキシン類はmg-TEQ/年))

対象化学物質	届出排出量					届出移動量			合計
	大気	公共用水域	土壌	埋立	小計	廃棄物	下水道	小計	
石綿	0	0	0	0	0	7,300	0	7,300	7,300
エチレンオキシド	10,740	0	0	0	10,740	360	1,300	1,660	12,400
カドミウム及びその化合物	0	11	0	0	11	20	0	20	31
六価クロム化合物	0	26	0	0	26	11,332	243	11,575	11,601
塩化ビニル	11,000	1	0	0	11,001	0	0	0	11,001
鉛化合物	62	1,817	0	0	1,879	21,010	1	21,011	22,889
ニッケル化合物	264	861	0	0	1,125	74,157	975	75,132	76,257
砒素及びその無機化合物	8	178	0	0	186	2,440	0	2,440	2,626
1,3-ブタジエン	18,140	310	0	0	18,450	473	0	473	18,923
2-プロモプロパン	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ベリリウム及びその化合物	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ベンジリジン=トリクロリド	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ベンゼン	40,871	78	0	0	40,949	730	0	730	41,679
ホルムアルデヒド	9,567	551	0	0	10,118	59,759	106	59,864	69,982
ダイオキシン類	2,708	39	0	0	2,747	82,393	1	82,394	85,142
合計	90,652	3,832	0	0	94,484	177,581	2,625	180,206	274,690